

天高く、馬肥ゆる秋の好日、元気な吾も紅の面々は毎日あちこちに出かけました。道後公園に、そして例年通り久万高原町へ。ふるさと村の見事な紅葉に普段「眠りの小五郎」よろしく眠ってばかりのUさんの目がぱっちり開いて、ひとりでどンドン進んでいきます。追いかけると

「この木を見てみよ！この赤と緑の見事な対比…」

と高揚したように口走られました。久万出身のUさんにとって、故郷の秋はひとしお身にしみたのだと思います。

紅葉とかかしを見物し、郷土料理の店で定食をいただきました。地元の野菜の美味しいこと！みなさん舌鼓を打ち、来年もまた…と願いました。



運動と食欲の秋とくれば「芸術の秋」文化祭もあります。今年、吾も紅は寸劇「水戸黄門」に挑戦しました。配役は、黄門様に背が高く白髪男性Uさん。町娘にAさんとKさん。助さん格さんはそれぞれ私と最年少のU君がつとめ、悪代官に悪人面のW君が任命されました。黄門様の頭巾は利用者Sさんが手縫いしてくれます。キャストのみ決めあとはぶっつけ本番のずぼらさ。これぞ吾も紅。

さて本番を迎え、何も知らされていないUさんは別室で半纏をまとい悠然と構えます。ナレーションに導かれお供を連れて登場。「これはいったいなんなのかな」という表情でした。町娘のKさんは「私嫌ですよ」といいながら椅子ごと引きずられて舞台へ。そこへ現れた悪代官。刀を振り回しながら観客たちに「今年の年貢をもらっていないぞ！年貢を納めよ～」となだれ込みました。「アベ晋之助の時代になって、収入の半分は年貢になったのじゃ、さあ払え～」なんたる暴挙。立ち向かった格さんはあつというまに倒されました。弱い…。黄門様は、疲れたのか椅子を見つけてちゃっかり座っています。誰も止められないかに思われた悪代官ですが、助さんが「ひかえおろー！」とお約束の印籠を渡します。そして黄門様が一言、「罪を憎んで人を憎まず」。こうして、溝辺町にふたたび平和が訪れたのでした…。チャンちゃん♪

